

8月2日(木)

### スピーチ授業スタート&ドラマレッスン

今日から最終日までの授業をサポートしてくれる6人の英国人大学生(クラスアシスタント)が授業に加わってくれます。生徒たちのスピーチを十分にサポートが出来る様、クラスアシスタントは全員生徒たちより年上です。高校の高学年から大学を卒業した人までの幅広い年齢ですが、皆、優しく親しみやすい学生ばかりです。クラスアシスタントの中には、去年も手伝ってくれた学生がいるということで、きっと生徒たちのスピーチも上達させてくれると思います。



午前中の授業が終わると、ランチタイムの時間です。晴天が続き、殆どの生徒が外で食べました。ランチタイムには、ホストマザーに作ってもらった英国風のお弁当を食べます。サンドイッチの他にサラダ、ケーキ、スナック、フルーツ、ヨーグルトなども入っていて、日本のお弁当とはかなり違う様子です。ホームステイ生活からは英国食文化

についても学んでいます。

3限目はスコーン作りに使う材料を近くのスーパーで買いました。先生が指定した材料を買うタスクをもらい少人数のグループに分かれて、いざお店の中へ。一生懸命自力で探しているグループや、英国人クラスアシスタントに聞いて1分かからずにタスクを終了したグループもありました。



今日の4時間目は、生徒全員でエイプリル先生による「ドラマ」の特別レッスンを行いました。「みんな初めは恥ずかしいかもしれないけれど、みんながみんなを笑わせるつもりで、リラックスして、大きな声を出して、ドラマの授業を楽しんでください。」という先生の言葉でレッスンはスタートしました。今回のドラマレッスンでは、大勢の前で話す際に必要となる表現力や、集中力、クラスメイトと英国人クラスアシスタントと一緒に課題に取り組むチーム力が培われる授業です。2時間のドラマレッスンの間には、様々なアクティビティを行いました。例えば、全員円になって座り「ジャングルにいるつもりで、聞こえるだろう音を出してみてください。」という

課題が出ました。鳥の声をだしたり、サルになりきるイギリス人アシスタントもいましたが、本校生たちは「どんな音を出せばいいかわからない . . . 」と悩みながらも足音を鳴らしたり、鳥の鳴き声にトライしていました。その他、ペアになり、彫刻家と粘土役に分かれ、先生が出した課題の物（例えば歯医者、パン屋さん、教師等）を彫刻家役が粘土役の人の体を使って表現しました。その他にもグループで自分たちの体を使って時計やバイク、ベッド、家を表現したり、色々なゲームにも挑戦しました。考えながら体を動かし、皆とても楽しそうでした。初めて体験するものばかりで、最初のうちは戸惑いや緊張気味の生徒達でしたが、レッスンが進むにつれて徐々に恥ずかしさや緊張もほぐれ、普段とはまた違った形の英語のレッスンを楽しんでいました。担当して下さった April 先生も、「もっとシャイかと思っていたけれど、みんな積極的に発言するので、素晴らしい！」とおっしゃっていました。生徒たちも、授業後には「楽しかったです！」と声を揃えて言っていました。



明日の午前は、スピーチ取材のため、小グループに分かれ、様々な施設訪問やインタビューを行います。しっかりと準備をして、たくさんのスピーチ材料が集められるよう、頑張りましょう！